

編集後記

師走に入ると急に厳しい寒波に襲われ、由布、鶴見の雪景色も久しぶりに眺めることが出来ました。今年もあと僅かですが、十一月に「大分県地方史研究会」が平成八年度地域文化功労者文化財保護の部で文部大臣表彰を受けるといふ喜ばしい年になりました。

本号は近代教育史の特集号として編集しました。中等学校への進学、女子の進学、就職、教育と政治とのかわりについての論説を、現職高校教師として兵庫教育大学の大学院で学ぶ永添氏と、女性史研究の第一人者である古庄氏にいただきました。佐藤氏からは明治初期の厳しい村の財政のなかでの小学校経営の貴重な史料を紹介していただきました。

明治から昭和にかけての教育問題は、いずれも今日の教育問題と密接なつながりを持っていることに改めて驚いています。ただ利益誘導的な面もあったが、厳しい進学を、少しでも希望を遂げさせるための学校新設や入試競争率の緩和のための努力であったことは考えさせられます。